

令和5年度 第5回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	三箇山 優花

開催日時	令和5年9月25日（月）17:00～18:30
開催場所	杉森中 北校舎2階 会議室
出席者（委員）	岡田会長、佐々木校長、村上職務代理、朝枝委員、佐久間委員、西野委員、福島委員、三箇山委員 欠席；小川委員、狩野委員、国藤委員
出席者（学校）	0名
傍聴者人数	0名

会議内容（次第順）

1. 会長挨拶

- ・酷暑もおさまり過ごしやすくなったが、コロナとインフルエンザが流行ってきている。これから冬に向けてどうなっていくか、気になるところ。

2. 校長挨拶

- ・3年生の修学旅行；無事に9/12-14にて遂行できた。修学旅行前に感染症が増えたため、学級閉鎖をし、事前検診は時差登校等で実施した。初日は天候不良のため一部目的地の変更があったが、昼食を近隣大学の学食で取る班もあり、キャンパス体験の機会ともなった。トラブルに対しても臨機応変に対処でき、学年全体の成長を感じた。最終日以降に数名の体調不良があり、再び金曜日から学年閉鎖へ。現在は通常どおりである。
- ・生徒会選挙・選出；2年生4名、1年生3名が選出された。10/31に生徒会新役員とCSとの意見交換会を予定。

3. 配布資料、議事録確認

- ・記載事項について

4. 討議事項

- ・「交流研修会」を受けて

5. 審議事項

- ・教職員の任用について
- ・管理職の任用について

6. その他

- ・参考情報「トークダンス」（朝枝委員）

主な意見

<「CS 交流会のまとめ」について>

- ・生徒の特長、SNS トラブル、コミュニケーションの話題が多かった。なかでも「保護者同士のコミュニケーション不足」が、どのチームからもあがっていたのが印象的。また、グループ学習についても、男女やあまり普段から話さない者同士の組み合わせの工夫などがもっとあってもいい。登校渋りの生徒保護者同士の交流や、交流の場づくりを進めていきたい。
- ・「好き」「たのしい」「おもしろい」など学び続ける姿勢をつくる場としての学校を目指す。
- ・「つくる、生み出す、育む場としての学校」に対し、そこに役立てるのが地域である。
- ・「価値観が違うから嫌だ」→「価値観が違うからこそおもしろい」へ。
- ・コロナ禍においては、経験値を獲得する機会が不足気味だったが、with コロナの中で経験機会をどうつくっていくか。自ら考える経験への工夫を考えたい。
- ・目的を明確にしたうえで自ら段取りを付ける力、約束を守るなど、学校のできる経験もある。
- ・失敗する経験も大事である（失敗を恐れてチャレンジを避けてしまいがち）。
- ・初めての試みだったが、非常に有意義な機会だった。
- ・長年いる先生から転入・新任の先生まで、「生徒像」が非常に似ているのが印象的だった。体育祭や音楽祭など、生徒主体の方針が定着してはいる一方、「もう少しアクティブであってもいいのに」という声が全体的に多かった。コロナ禍の影響もあるのかもしれない。
- ・SNS トラブルへの課題が大きい。
- ・保護者会はコロナ禍でも開催されたが、保護者同士での交流は薄め（共働き家庭も増えているため、保護者会自体に出席できない保護者も増えている。学校公開への参加者数も、増えてきてはいるが、やや少ない印象）。コロナ前は、保護者会後に茶話会等があった。コロナ禍によりそこでの交流機会がなくなったので、そもそも機会が不足していることは事実<課題>。例）PTA としてできること；保護者会後の茶話会、井戸端会議、マイプレなど
- ・「いろいろな意見が出て終わり、ではなく、そこから何をしていくか」が重要。それぞれが当事者意識を持つということがテーマなので、具体的に形にしていきたい。
- ・先生方とCSとが、困りごとを共有できるということは大きな第一歩。今後も続けていきたい。

<「トークダンス」について>

- ・本音の話題づくりのきっかけ手法のひとつとして紹介。
- ・非常に盛り上がるとのこと（異業種交流会などでもよくやる手法）
- ・生徒と大人の人数が同じ程度になる必要がある<課題>

次回の会議日程

日時	【第6回】令和5年10月31日（火）16時から
	【第7回】令和5年11月20日（月）17時から
会場	杉森中学校 北校舎2階 会議室